

診療科目 ● 循環器・腎臓内科学
● 循環器・腎臓内科学教室 A. 循環器内科専攻コース

プログラム責任者：梅村 敏

附属病院	
准教授	石川 利之（循環器内科部長）
准教授	石上 友章、菅野 晃靖
講師	松本 克己
助教	矢野 英人、細田 順也、小村 直弘、清國 雅義、中山 尚貴、峯岸 慎太郎、岩田 究、高野 桂子
附属市民総合医療センター	
教授	木村 一雄（心臓血管センター部長）
准教授	海老名 俊明、日比 潔
講師	塚原 健吾
診療講師	岩橋 徳明
助教	前島 信彦、羽柴 克孝、秋山 英一

本プログラムの特徴

附属病院循環器内科シニアレジデントコースでは、内科臨床医として必要な幅広い一般内科診療の知識、技術の習得を軸に、更に循環器内科系の各専門分野全般に亘ってバランスよく研修を行い、循環器内科専門医としての基盤作りを目指しています。3年間の研修中には、日本内科学会認定内科医の資格取得を目標とし、更に研修修了後には日本循環器学会認定循環器専門医の資格を取得することを目標とします。また研修中でも大学院への進学、国内外への留学などの希望には随時相談に応じており、柔軟性の高い研修カリキュラム実現が可能です。

市民総合医療センター心臓血管センターでは循環器医療の特徴でもある救急医療に力を入れており、急性心筋梗塞をはじめとする虚血性心疾患、心不全、不整脈、胸腹部大動脈瘤、急性大動脈解離等の症例数は多く、その成績も良好で全国でも有数の施設となっています。日本循環器学会のガイドライン作成にも7分野にわたり携わっており、エビデンスに基づいた標準的な治療を基本とし、症例に応じてさらに高度な医療と組み合わせ日々の診療を行っております。また、大学附属病院として臨床研究を中心とする研究面にも力を注いでおり、国内のみならずアメリカ心臓協会（AHA）、アメリカ心臓病学会（ACC）などの一流学会で発表する機会もあります。

尚、両院共に日本内科学会認定研修施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設になっています。

目 標

循環器内科医として優れた臨床能力を身につけるため、虚血性心疾患、不整脈、弁膜症、心筋症、心不全、末梢動脈疾患、動脈硬化症、循環器救急、再生医療など循環器系の各専門分野全般に亘ってバランスよく研修を行い、非侵襲的、侵襲的手法を用いた各種の診察検査手技、および治療法を修得し、確実に標準的な診断、治療が行えるようになる。

目標とする学会認定専門資格

日本内科学会認定内科医	日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医
日本内科学会認定総合内科専門医	日本老年医学会認定老年病認定医
日本循環器学会認定循環器専門医	日本心血管インターベンション治療学会認定医

主な協力病院

神奈川県立循環器呼吸器病センター、済生会横浜市南部病院、藤沢市民病院、横須賀市民病院、国立病院機構相模原病院、大森赤十字病院、国際親善総合病院、秦野赤十字病院、神奈川県立足柄上病院、横浜保土ヶ谷中央病院、茅ヶ崎市立病院、国際医療福祉大学熱海病院、藤沢湘南台病院、神奈川県立がんセンター、神奈川県立こども医療センター、長津田厚生病院

診療科のホームページ URL	担当者・連絡先
[附属病院] http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~ninai/ [心臓血管センター] http://www.ycu-cardiac.jp/	附属病院：松本 克己 心臓血管センター：海老名 俊明

診療科の実績

附属病院 2014 年実績：心臓カテーテル検査（インターベンションを含む）775 件、経皮的冠動脈インターベンション 209 件、経皮的末梢血管形成術 191 件、ペースメーカー植え込み（電池交換含む）63 件、ICD 植え込み（電池交換含む）25 件、CRT-D 植え込み 21 件、カテーテルアブレーション 122 件、EPS 129 件、ICD/ ペースメーカーシステム除去 6 件、植え込み型心電図記録計 21 件。

心臓血管センター 2014 年度実績：心臓カテーテル検査（インターベンションを含む）約 1,256 件、経皮的冠動脈インターベンション 389 件、ロータプレータ 22 件、経皮的末梢血管形成術 45 件、経皮的心肺補助装置（心臓血管センター分）32 件、ペースメーカー植え込み（電池交換含む）77 件、ICD 植え込み（電池交換含む）27 件、CRT-D 植え込み（電池交換含む）10 件。

指導医から一言

附属病院：

- 母体である病態制御内科学講座・旧第二内科教室（主任教授 梅村 敏）は循環器内科と腎臓高血圧内科の2分野によって構成されており、大学及び協力病院ともこれら2つの専門分野が協力しあっている所が多く、循環器内科のみでなく全人的医療としての視野の広い内科学の真髄を学ぶ機会があります。
- 大学と協力病院とが一体となってローテートを決め、このローテートの中で各病院の特徴を活かしたトレーニングがなされ、より広い視野に立てる循環器専門医養成をめざしています。
- 各専門分野での手技や専門知識の修得はもちろん、先進医療から慢性疾患の生活指導までを修得して優れた医師となりうる研修体制です。
- 特に当病院循環器内科と市大センター病院の心臓血管センター内科とは緊密に連絡をとり、一体となったローテートおよびトレーニング体制をとっています。
- 当教室のホームページには循環器内科グループのみならず腎臓・高血圧内科についての大学での診療・教育・研究や協力病院の特徴が見られるようになってきました。さらに、大学院や留学等も視野に入れた各グループの専門医養成のシステムが述べられていますので参考にして下さい。

心臓血管センター：

最近の経皮的冠動脈インターベンション（PCI）や経皮的末梢血管インターベンション（PTA）を含む心臓カテーテル検査の件数は年間約 1,200 - 1,300 件、PCI は年間 400 件前後です。適応症例にはロータプレータや血栓吸引、末梢保護を用いたインターベンションも行っています。血管内イメージングも積極的に進んでおり、血管内超音波検査のみならず OCT も施行可能です。不整脈に関しては、ペースメーカー植え込み、植込み型除細動器植え込み、CRT-D 植え込み、カテーテルアブレーションを行っています。その他、急性肺血栓塞栓症に対する一時下大静脈フィルター留置による治療や劇症型心筋炎に対する経皮的な心肺補助装置（PCPS）を用いた治療を導入しています。心肺停止状態で来院した患者に対しては高度救命救急センターと協力して適応例には PCPS を使用し救命を、低体温治療により脳蘇生をはかっています。また、研究面にも力を入れており、その成果は日本循環器学会、日本心臓病学会、AHA、ACC などでも多数発表され、英文誌にも数多く掲載されています。このような成果のもと日本循環器学会において虚血性心疾患を中心に7つのガイドライン作成を担当しています。以上のように心臓血管センターでは、臨床面でも研究面でも実績があり、やる気のある先生方の研修を希望しています。

